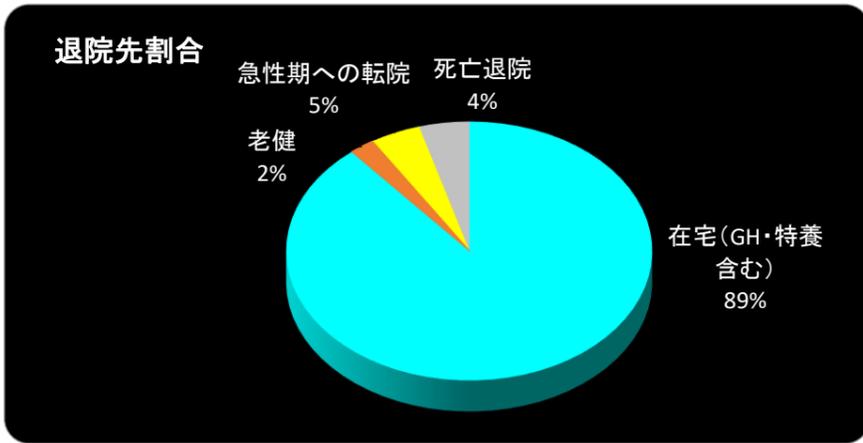


回復期リハ病棟診療統計データ(2023年4月～2023年9月)

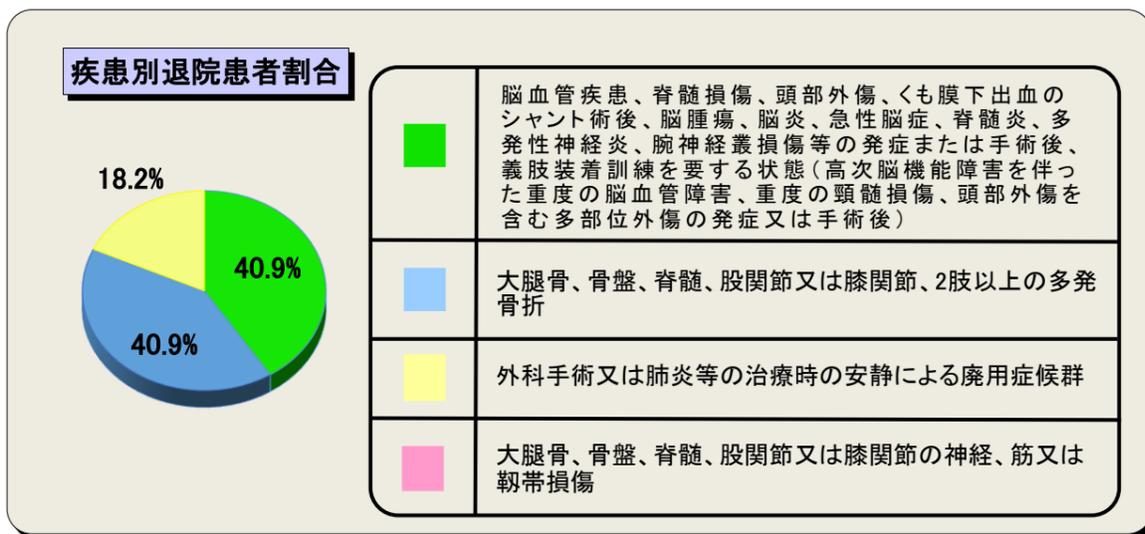


退院者数(人)

在宅(GH・特養含む)	40
療養型病棟	0
老健	1
急性期への転院	2
死亡退院	2
対象外疾患患者	2
計	47

退院者平均年齢(歳)	78.9
------------	------

※死亡・急性期への転院を除く在宅復帰率… **97.6%**

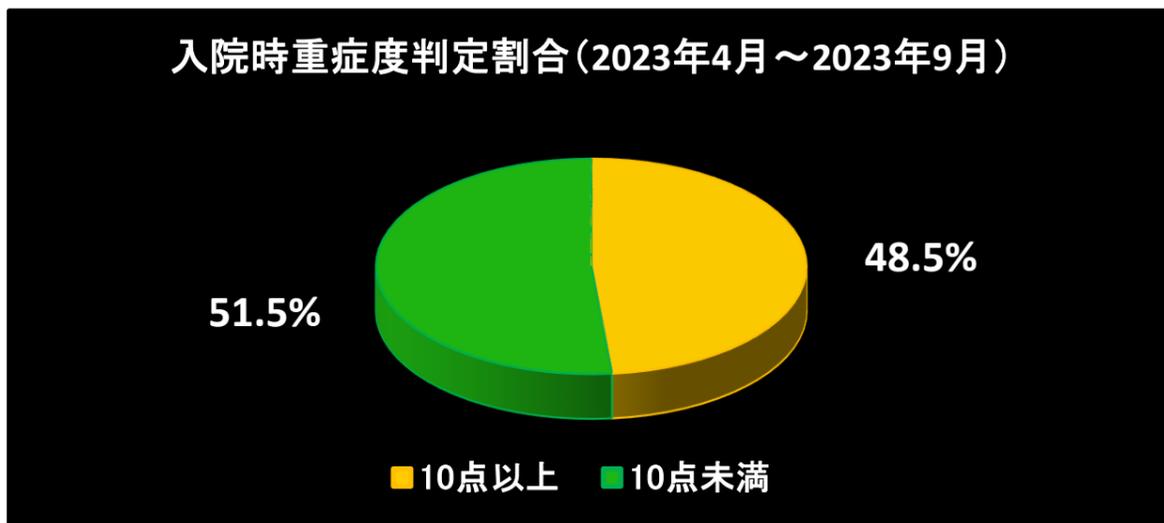


疾患別退院患者数(人)

脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、腕神経叢損傷等の発症または手術後、義肢装着訓練を要する状態(高次脳機能障害を伴った重度の脳血管障害、重度の頸髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症又は手術後)	18
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節、2肢以上の多発骨折	18
外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群	8
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷	0
計	44

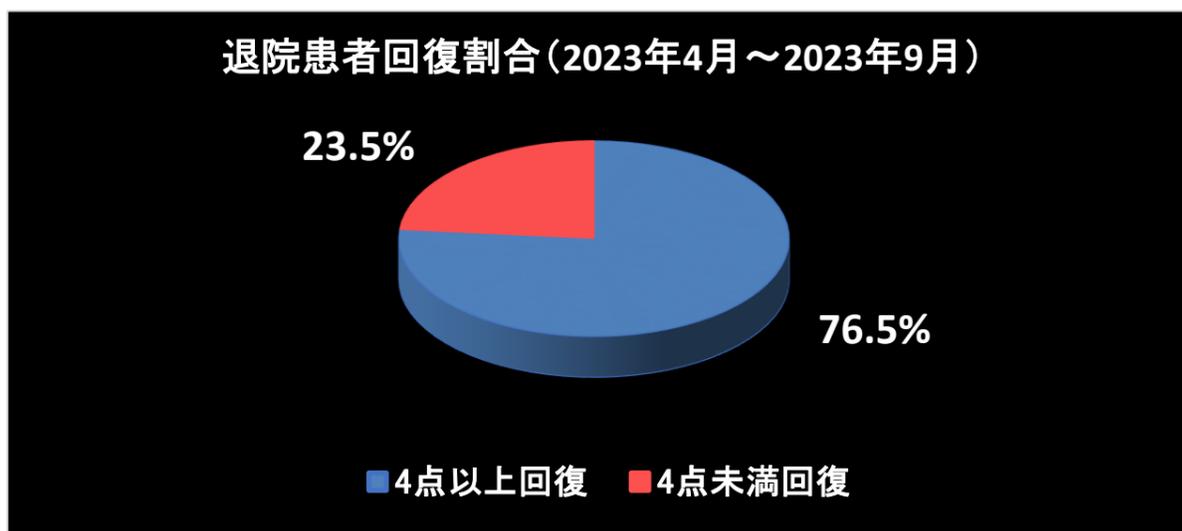
疾患別平均在院日数(日)

脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、腕神経叢損傷等の発症または手術後、義肢装着訓練を要する状態(高次脳機能障害を伴った重度の脳血管障害、重度の頸髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症又は手術後)	165.1
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節、2肢以上の多発骨折	68.0
外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群	73.5
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷	0.0
全体	117.8



日常生活機能評価

評価	人数
1 10点以上	16
2 10点未満	17
計	33



重症患者回復加算

回復加算	人数
1 4点以上回復	13
2 4点未満回復	4
計	17

回復期リハ病棟診療統計データ(2023年4月～2023年9月)

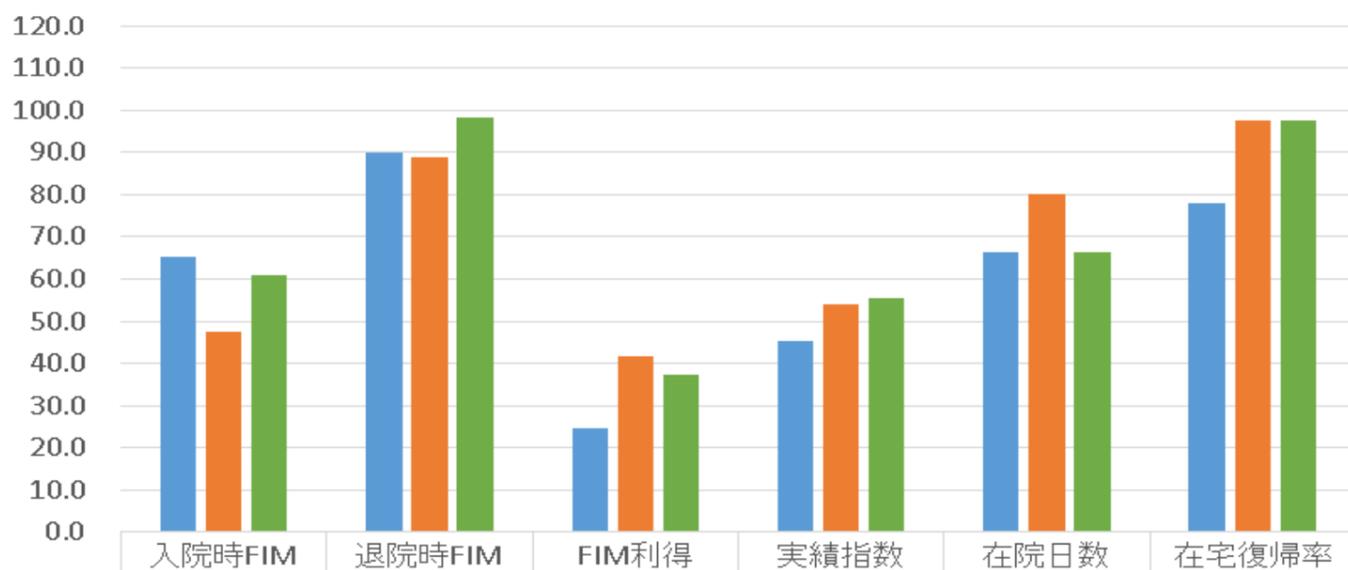
回復期リハビリテーション病棟 退院患者データ (2023.4月～2023.9月)

	脳血管系		整形外科系		廃用症候群		全体	
	当院	全国	当院	全国	当院	全国	当院	全国
入院時FIM(平均)	71.0	59.5	56.9	70.7	43.6	56.4	61.0	65.3
退院時FIM(平均)	106.7	83.5	89.7	96.4	97.4	74.7	98.3	89.8
FIM利得(平均)	35.7	24.0	32.8	25.7	53.8	18.2	37.3	24.5
実績指数	70.1	54.1	47.3	44.1	51.0	36.0	55.6	45.3
在院日数	71.9	81.6	55.1	55.0	79.0	54.3	66.2	66.2
在宅復帰率							97.6	77.9

・全国データは回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書を引用(一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会2023年2月23日発行)

・実績指数:回復期リハビリテーション病棟における直近の実績指数(平成28年3月4日保医発0304第3号)別添1第1章第2部第3節A308(12)イに示す方法で算出

回復期リハビリテーション病棟実績



	入院時FIM	退院時FIM	FIM利得	実績指数	在院日数	在宅復帰率
■全国平均	65.3	89.8	24.5	45.3	66.2	77.9
■2023.1月～2023.6月	47.4	89.0	41.6	54.0	80.0	97.6
■2023.4月～2023.9月	61.0	98.3	37.3	55.6	66.2	97.6

※FIM(機能的自立度評価表):実際に行っている日常生活動作の能力を評価したものです。全18項目を介護量に応じて完全自立～全介助までの7段階で評価します。点数が高いほど自立度が高くなります。

※FIM利得:日常生活動作能力の改善値を示しています。(退院時FIM-入院時FIM=FIM利得)

※実績指数:回復期リハビリ病棟の実績を表す指標です。数値が高いほど改善度が高いことを示しています。